



しあわせの島「奄美」
日々の暮らしから、
未来へつながる食と農

食と農の 総合戦略 2025

食と農の総合戦略は奄美の暮らしに息づく「食と農」を
日々の暮らしから、未来へと手渡していきます



△ HPはこちら
戦略の正式版を
確認できます

発行 奄美市 2026年3月 <https://www.city.amami.lg.jp>
お問合せ 奄美市農林水産課 ☎0997-52-1111

奄美市



しあわせの島「奄美」

日々の暮らしから、未来へつながる食と農

たくさんの声から、ひとつの風景へ

畑のこと、海のこと、家の食卓のこと。
昔の話や、いまの暮らしのこと。
ひとつひとつは、誰かの日常の言葉。

けれども、それらを重ねていくと、
奄美の暮らしの中に、ひとつの風景が浮かび上がってきました。

それは、自然や歴史、文化とともにあり、
人の営みのそばに、いつも「食と農」があったという風景です。

この当たり前の風景は、あまりにも暮らしに溶け込んでいたために、
振り返る機会が少なかったかもしれません。

この戦略は、たくさんの市民の言葉に耳を澄ましなが
ら、奄美の食と農を「しあわせの島」へ手渡していくために
日々の暮らしの中に位置づけ直すものです。



暮らし

食と農が日常の豊かさを支える暮らし

日常の中で、「食べること」と「つくること」の
循環が続けられることを大切にします。

野菜の作り方を教
えてもらえるので家
庭菜園がたのしい

できること

- わたし**
 - 島の食材や身近な作物を日々の食卓でつかう
 - 家庭菜園や小さな栽培をする
 - 食や農について、知ったこと・感じたことを身近な人に話す
- 企業**
 - 島の食材を取り扱う
 - 食材の背景や作り手を市民や購買者に伝える
- 行政**
 - 市民や企業の実践が始めやすく、続けやすい環境を整える
 - 日常の取組みを見える形で共有・発信する
 - 暮らしの中の食と農の価値をわかりやすく伝える



もう一度、暮らしへ

たくさんの言葉から見えてきた食と農の変化は、
産業の課題であると同時に
私たちの「暮らし」と「食と農」の距離が少しずつ離れて
いることの表れでもあります。

奄美の豊かな自然の中で育まれてきた営みを
これからも大切にしていくために
食と農を身近に感じられることが大切です。

これからの食と農

島で暮らす私たちが
島の食材を選び、
小さな畑や庭先で野菜や島の作物を育ててみましょう。
そうした日々の積み重ねが、生産者の営みと重なり、
私たちの食卓を支えていきます。

奄美の食と農は、
こうした循環の中で
次の世代へ自然に受け継がれていきます。

しごと

食と農を軸に島の生業が 持続的に循環する

規模の大小にかかわらず、地域の中で続いていく
「島のしごと」を大切にします。

できること

- わたし**
 - 島の食材や商品を選び続ける
 - 生産や栽培の背景に関心を持つ
 - 応援したい生業を、自分なりのかたちで支える
- 企業**
 - 未来へ続く島のしごとを育てる
 - 生産者や他の事業者とつながり、学び合う
 - 奄美の風土や知恵を活かした価値づくりに取り組む
- 行政**
 - 食と農に関わる情報が集まり、活かされる土台を整える
 - 事業者同士の連携や挑戦を支え、つなぐ
 - 続けるための課題解決をともに考える

一緒に「儲かる
農業」をしよう!

島の魚はとっても
質がいい!



つながり

食と農を通じて ひと・地域がつながり続ける関係性

日常の関わりを通じて、暮らしと人のつながりが
「食文化」として受け継がれることを大切にします。

できること

- わたし**
 - 地域の行事や学びの場に参加する
 - 食と農をきっかけに、人とつながる
 - 島の食文化を身近な次の世代に伝える
- 企業**
 - 食と農を通じた交流や学びの場に関わる
 - 生産物や商品の新たな価値につなげる
- 行政**
 - 出会いや交流が生まれる場やきっかけをつくる
 - 地域の取組みや思いを記録し、伝える
 - 次世代へつなぐ取組みを支え、後押しする

郷土料理を一
緒に作りましょ
う

